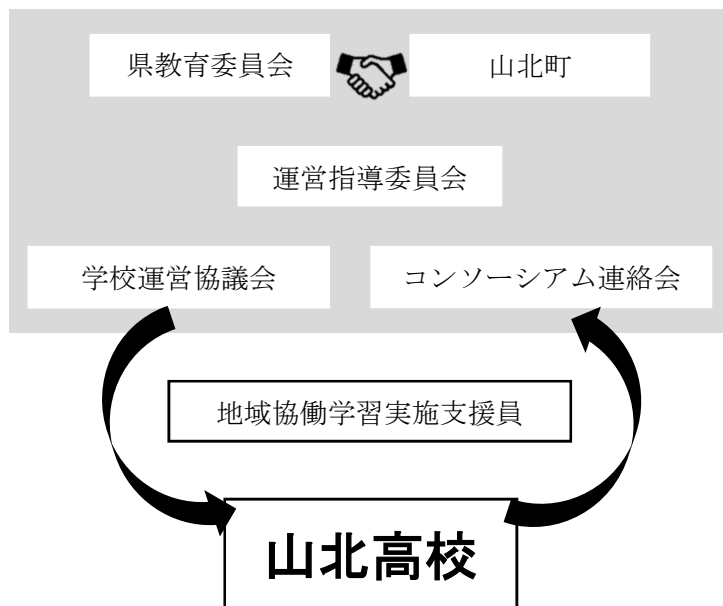


未病・防災～高齢者比率4割の町で高校生が挑む少子高齢化

背景

山北町の少子高齢化に対する危機意識と山北高校が地域から愛され、求められてきた歴史をもとに、高校の存続と地元の町を超えた県西地域の存続の課題に挑む。



目標

教育課程の中心に「総合的な探究の時間」を捉え、コンソーシアムの協力を得ながら、探究手法の習得と、SDGs及び地域課題の認識の向上また、地域の魅力を知ること。

取組状況

総合的な探究の時間（未来探究）  
SDGs  
「山北」 「未病」 「防災」

- 各教科によるPBLの推進
- 地元企業による循環型社会
- 山北町フィールドワーク
- 企業との連携・協働学習
- 県西地域活性化プロジェクトへの貢献
- 町との連携・協働による防災・減災に係る学習

成果

- 山北町、県政策局との連携・協働
- 企業と協働したカリキュラム開発
- コンソーシアムの活用（授業開発、教員研修）
- 生徒のSDGsへの理解及び認識の向上
- 生徒の地域に対する関心や貢献度の向上

課題

- コンソーシアムへの参加団体・企業等の拡大と内容の充実
- 地域との一層の一体的取組
- 各教科における探究的学習の展開
- 課題の自分事化とPBLの充実
- 実現可能な地域おこしプロジェクト